

中部における歴史まちづくりの事例

(歴史的風致維持向上計画の認定事例)



国土交通省 中部地方整備局

○高山市歴史的風致維持向上計画

計画期間：平成20～24年度

岐阜県高山市

高山市歴史的風致維持向上計画では、三町、下二之町大新町の2つの重要伝統的建造物群保存地区を中心に、春・秋の高山祭で彩られる旧城下町を重点区域とし、旧矢嶋邸跡地を使用した拠点整備事業や、東山寺院群など文化財で地域を繋ぐ周遊路整備事業などの実施、屋台祭礼や飛騨匠の技術の継承などが位置づけられています。



高山市の維持向上すべき歴史的風致

高山市における歴史的風致は、次の2つの要素が一体となっている、その区域の環境のことをいいます。

- ① 飛騨の長い歴史と伝統によって構築された歴史的建造物とその周辺市街地。例えば日下部家、吉島家、東山寺院群などと、城下町高山全体。
- ② そのそれぞれの場所における、歴史、伝統を反映した人々の活動。例えば、城下町区域で行われる祭礼行事、寺社関係年中行事、七夕、正月行事など民間信仰関係の年中行事、伝統的な高山消防出初式、二十四日市などの活動。



高山祭の屋台行事



町並保存会の活動
七夕飾り



旧矢嶋邸整備事業



周遊ルート整備事業



ソフト事業(屋台祭礼支援)

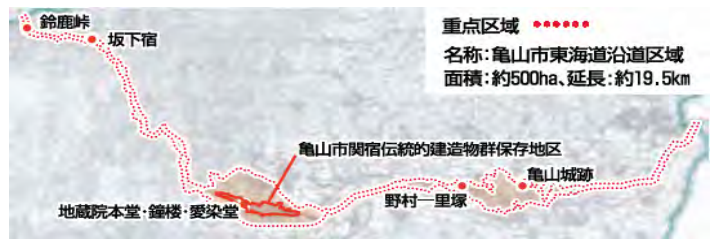
重点区域における施策・事業の概要

○亀山市歴史的風致維持向上計画

計画期間：平成20～29年度

三重県亀山市

重要伝統的建造物群保存地区である関宿を中心として、東海道五十三次の旧宿場町や街道沿道を重点区域とし、東海道街道環境整備事業や旧亀山城多聞櫓保存整備事業などを実施するとともに、歴史的なまちなみを背景として山車の曳きまわしがされる「関の山車」の祭りなどをさらに活性化させる山車会館の建設などが位置づけられています。



亀山市の維持向上すべき歴史的風致

亀山市は、東海道・大和街道・伊勢別街道などにより、「東西文化の接点」として多くの旅人たちを迎えてきました。旅人たちによってもたらされた様々な文化の中で、亀山の気候風土や慣習に合ったものがこの地に根付き、長い年月の中で少しずつ姿を変えながら現在の亀山市固有の歴史的風致を形づくっています。



関の山車



東海道を練る傘鉦



東海道街道環境整備
事業



旧亀山城多聞櫓保存整
備事業



亀山城関連施設復元事業

重点区域における施策・事業の概要

○犬山市歴史的風致維持向上計画

計画期間：平成20～29年度

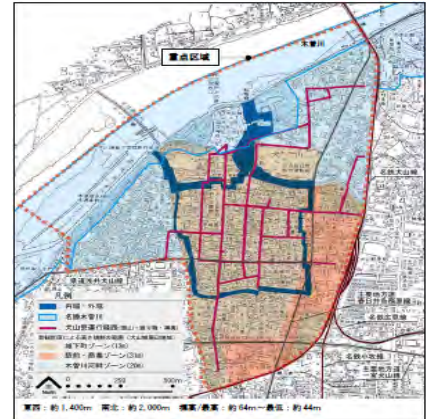
愛知県犬山市

国宝「犬山城天守」を中心とした城下町周辺区域を重点区域とし、重要無形民俗文化財「犬山祭の車山行事」をはじめとする各種活動や、登録有形文化財堀部家住宅の整備事業等が位置づけられています。

犬山市の維持向上すべき歴史的風致

針綱神社の例祭として犬山城下13町内から車山が出されて行われる車山行事では、町衆らによって、車山の組立てから曳き回し、からくり奉納、解体保管を始め、からくりとお囃子の練習や夏の懸装幕の虫干しなど、一年を通じた運営が行われています。

370余年もの長い年月の間、町衆らにより大切に守り伝えられてきた犬山祭の祭礼儀式(重要無形民俗文化財)と、その背景または舞台となっている国宝犬山城や城下町の歴史的なまちなみが今なお一体となって残り受け継がれている光景が、犬山を代表する歴史的風致といえます。



国宝犬山城と名勝木曾川

重点区域における施策・事業の概要



堀部家住宅整備事業



景観重要建造物助成事業(車山蔵)



犬山市文化史料館リニューアル事業

○恵那市歴史的風致維持向上計画

計画期間：平成22～31年度

岐阜県恵那市

重要伝統的建造物群保存地区である本通りを中心として、岩村城下町を重点区域とし、岩村藩鉄砲鍛冶加納家取得・修理事業、岩村城石垣修理事業、電線類地中化・まちなか道路修景事業などが位置づけられています。

恵那市の維持向上すべき歴史的風致

恵那市には、岩村城下町や中山道大井宿等において現在も多くの歴史的建造物が残っており、岩村城下町は重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。各地域では、こうした歴史的資源とともに地区固有の祭礼や伝統を反映した産業・活動が行われており、それらが一体となった良好な市街地の環境が恵那市の歴史的風致を形成しています。



武並神社例大祭

岩村町秋祭り



重点区域における施策・事業の概要



岩村藩鉄砲鍛冶加納家取得・修理事業



岩村城石垣修理事業

○美濃市歴史的風致維持向上計画

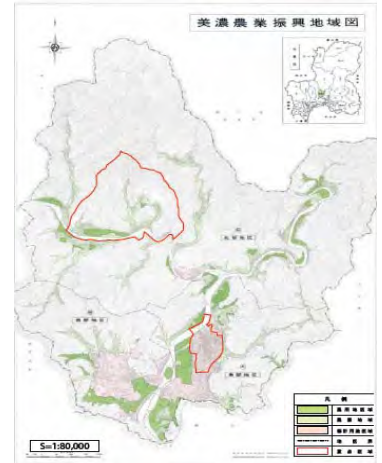
計画期間：平成23～32年度

岐阜県美濃市

美濃市歴史的風致維持向上計画では、重要伝統的建造物群保存地区を中心とする城下町上有知地区と、和紙の里牧谷地区の2つを重点区域とし、重要文化財美濃橋保存修理事業、伝統芸能等調査研究保存整備事業、紙屋・川屋保存整備事業などが位置づけられています。

美濃市の維持向上すべき歴史的風致

美濃市では、市域の周辺部において古代から続く美濃和紙の生産や、山岳に根ざした信仰や祭礼が伝えられ、また中心部では美濃和紙をはじめとする製造業や商業で富を集積した商家群が近世城下町の町割りに「うだつの上がる町並み」として息づいています。これらは、美濃和紙をはじめ物資の運搬路として結んだ歴史的な河川や街道と、祭礼行事や風俗、風習など人々の生活生業などと相まって、本市のアイデンティティである「うだつの上がる町並み」や「美濃和紙」に象徴される特有の歴史的風致を形成しています。



小坂家住宅



うだつの上がる町並み



重要文化財美濃橋保存修理事業



紙屋



川屋

紙屋、川屋保存整備事業

重点区域における施策・事業の概要

○明和町歴史的風致維持向上計画

計画期間：平成24～32年度

三重県明和町

国指定史跡である斎宮跡を中心として、県指定史跡である坂本古墳群等を含む地域を重点区域とし、史跡公園整備事業や神宮橋整備事業、坂本古墳公園整備事業などが位置づけられています。

明和町の維持向上すべき歴史的風致

明和町は、古くは全域が伊勢神宮の神領となっており、古代から中世にかけて、天皇の代わりに伊勢神宮の天照大神に奉仕するため、歴代天皇の即位ごとに伊勢に遣わされた「斎王」の御殿とその事務を取り扱う役所(斎宮寮)からなる「斎宮」が置かれていました。近世でも、「斎宮」があった斎宮村をはじめとした5か村は、伊勢神宮の直轄地(神宮領)として残り、伊勢神宮と密接な関わりを持って発展してきました。

こうした歴史的背景から、町民には市街地に眠る歴史を大切に伝え残すという思いや取り組む姿勢が受け継がれ、各地区の民俗行事も伝承されています。これらの思いや取り組み、民俗行事等と市街地が一体的な環境を形成していることが、明和町の歴史的風致となっています。



斎宮成立期と方格地割の位置図



史跡東部整備事業(柳原区画)



秋戸散策道整備事業



神宮橋整備事業

重点区域における施策・事業の概要

○問い合わせ先 国土交通省 中部地方整備局 建政部 計画管理課 TEL 052-953-8571
〒460-8514 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館